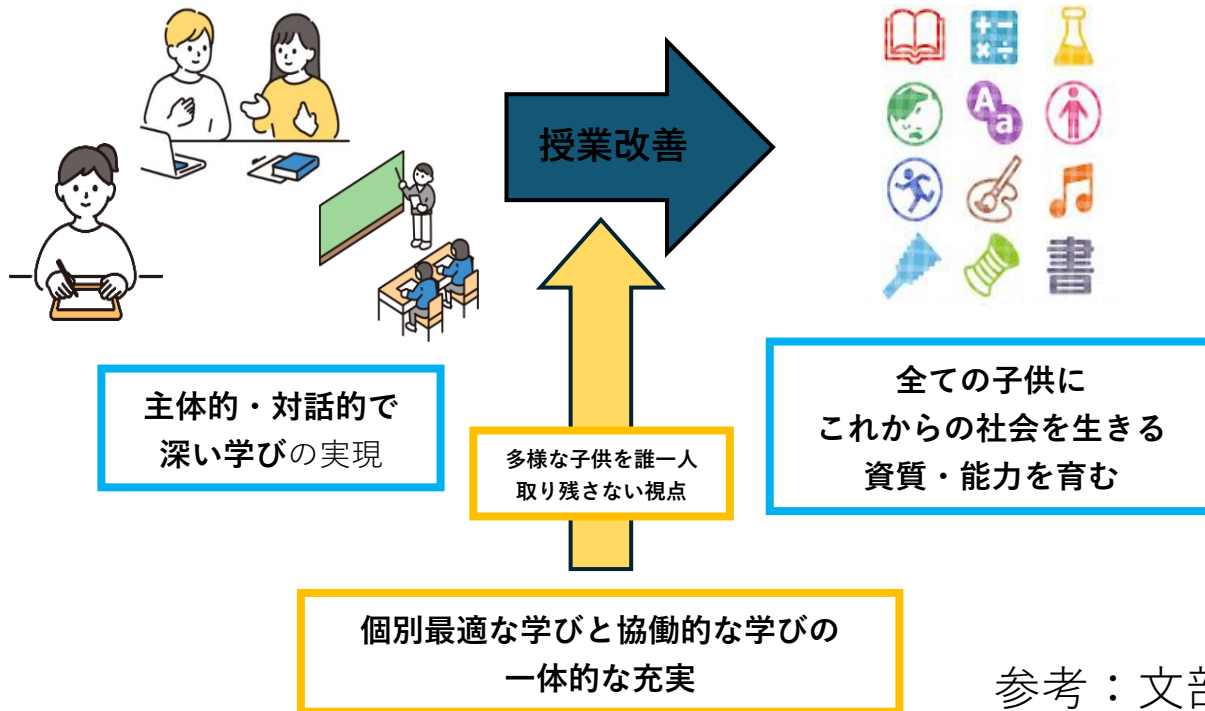


# 明日からできる特別支援教育！ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、  
誰一人取り残さない形で、  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



東葛飾教育事務所  
指導室

参考：文部科学省「授業づくりnote」  
(<https://mext-curriculum-gov.note.jp/n/nf934cb3fe36d>)

# ポイント①：障害特性に配慮した個別最適な学び

## 合理的配慮



合理的配慮事例集～小中学校の通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒の事例を中心に～／千葉県

## 構造化



見通しをもたせる  
スケジュール提示

## 内容



体験的で  
興味もてる  
題材設定

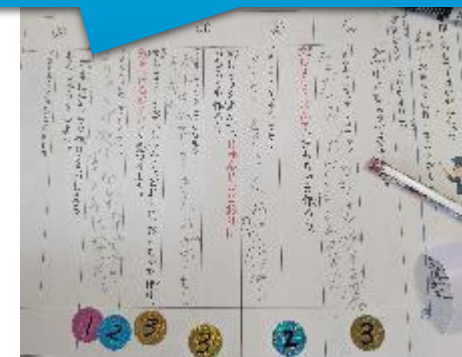
学習の振り返り  
(ICTを活用した可視化等)

## ICT



## ワークシート

個々の目標（課題）の提示  
個々に応じた支援  
振り返り（自己評価）



# ポイント②：自立に向けた協働的な学び

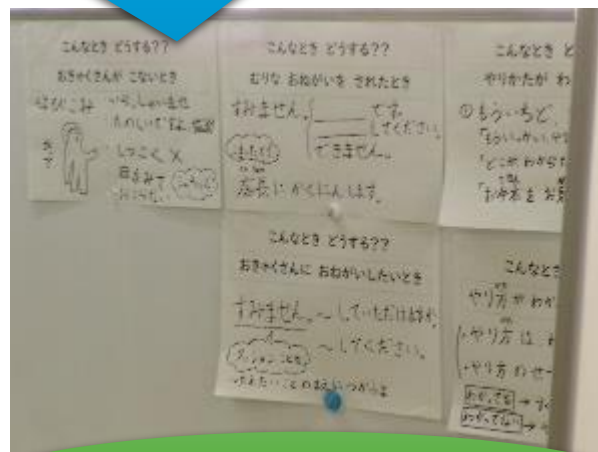
## 授業構成の工夫



実践モデルプログラムの活用  
「思考し、表現する力」を高める  
実践モデルプログラム／千葉県

## 場の設定

関わりが苦手だからこそ  
他者とかかわる部分は  
丁寧に指導・支援



## ソーシャルスキル トレーニング



## 交流・発表

- ・ 子供同士が関わる場面の設定
- ・ 社会自立に向けた体験的な学習内容
- ・ 安心して取り組むための事前学習（リハーサル）

# ポイント③ 自立活動

## 自立活動とは

学習上又は生活上の  
困難



自立活動に取り組み  
改善・克服を目指す



共生社会で生きる  
豊かな生活

特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編



6区分27項目を相互に関連付けて  
単元計画や授業づくりを行うことが  
大切です。

### 1 健康の保持

- (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事
- (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事
- (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事
- (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事
- (5) 健康状態の維持・改善に関する事

### 2 心理的な安定

- (1) 情緒の安定に関する事
- (2) 状況の理解と変化への対応に関する事
- (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事

### 3 人間関係の形成

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事
- (4) 集団への参加の基礎に関する事

### 4 環境の把握

- (1) 保有する感覚の活用に関する事
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事
- (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事
- (5) 認知や行動の手がかりとなる概念の獲得に関する事

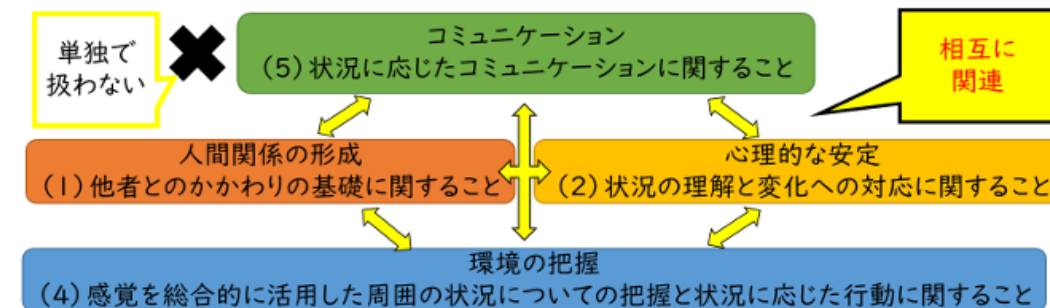
### 5 身体の動き

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事
- (4) 身体の移動能力に関する事
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事

### 6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事
- (2) 言語の受容と表出に関する事
- (3) 言語の形成と活用に関する事
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事

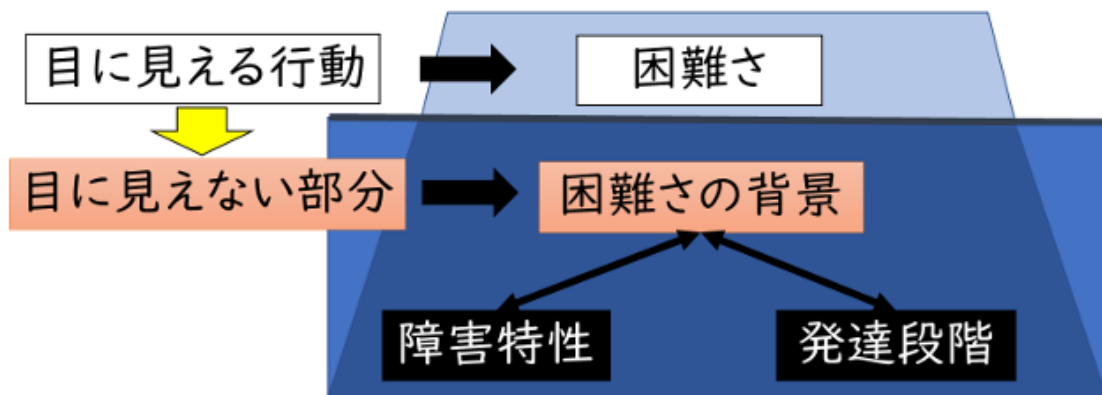
例：感情のコントロールをすることができる。



# ポイント③ 自立活動

困難さの背景を考えて  
課題を設定しましょう

成長の姿を想像して、長期→中期→短期  
と段階的に考えましょう



【長期目標】1年後の姿を想像して、目指す姿を明確にする。(重点目標)

【中期目標】前期・後期など評価期間の中で到達してほしい姿を明確にする。  
後期の目標は、前期の評価をもって設定される。(前期目標・後期目標)

【短期目標】単元ごと、もしくは授業ごとに期待する姿を明確にする。  
授業や単元の終了時に評価を行い、目標を見直す。

## 《集団学習で行う自立活動》 ※一例

- 順番を意識した学習: 我慢したり、折り合いを付けたりする力に繋がる。
- 意見を出し合う話合い: 自分と他者の違いに気付くことができるようになる。
- 苦手なことに取り組む: 励ましあったり、助け合ったりする意識に繋がる。
- 役割を演じる学習: 異なる立場を経験し、考え方を広げることができるようになる。
- 他者評価を取り入れる: 学習の動機付けになり、習慣化を図るきっかけになる。

(参考) 自立活動リーフレット  
[hokusou.ziritukatudou.pdf](http://hokusou.ziritukatudou.pdf)